

芸術文化創造センター平面プラン(案)のパブリックコメント募集結果

1. パブリックコメントの募集概要

【募集期間】

平成25年11月21日～平成25年12月20日

【募集方法】

「意見記入用紙」へ記入。または、電子メール

【配布場所】

窓口での閲覧（文化政策課、タウンセンター、（マロニエ・いずみ・こゆるぎ）、支所・連絡所等）、市ホームページへの掲載、広報への掲載

2. パブリックコメントの集計結果

【パブリックコメント提出者数】

77人

【意見等件数】

258件

【住所】

市内50人（川東地区8人、川西地区27人）、市外4人

【年齢】

10代1人、20代4人、30代5人、40代7人、50代9人、60代9人、70代13人、80代2人

【性別】

男性44人、女性29人

【提出方法】

郵送7人、FAX22人、メール18人、投稿フォーム14人、窓口16人

※【住所】、【年齢】、【性別】については、ご記入いただいた方のみ計上しています。

【意見件数一覧】

平面プランについて	
大ホールについて	24件
小ホールについて	5件
ギャラリーについて	28件
スタジオについて	12件
ワークショップルームについて	1件
事務室について	4件
オープンロビー・ラウンジについて	8件
施設全般について	30件
バリアフリー	3件
災害対策・避難	2件
コスト	29件

広場	2 件
車寄せ	3 件
駐車場	8 件
通用口	2 件
救護室	1 件
テラス	2 件
樹木	3 件
計画全般について	
三の丸地区	2 件
三大事業	4 件
市民ワーキング	4 件
事業の進め方	25 件
整備事業	29 件
その他	
機能分担・役割分担	3 件
管理運営・ランニングコスト	10 件
パブリックコメントについて	2 件
舞台設備業者選定プロポーザル	6 件
その他	6 件

3. (案)に対する意見・提案への対応

A	(案)に盛り込まれているため、(案)を修正しない。(盛り込み済)	65 件
B	(案)を修正・追加する。(修正・追記)	1 件
C	今後の取り組みにおいて検討する。(検討)	85 件
D	参考にする。(参考)	101 件
E	実施することが困難。または、(案)に反映しない。(実施困難)	6 件
	合 計	258 件

パブリックコメント意見と市の考え方

■平面プランについて

大ホールについて

一般

No.	意見	市の考え方	区分
1	多目的な大ホール。演劇、音楽会、バレエ、オペラから政治集会までこなす、まるで教会・寺院・神社を一棟の建物で満足させようとするかのようなようです。ここまで要求が多かったら、出来るだけ変化に対応可能なシンプルなものにしなければ使えるものは出来ないと思います。	大ホールは、生音の響きが求められるオーケストラによる音楽利用から、本格的な舞台芸術作品の上演まで、多様な演目に対応することのできる多目的型として計画しています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
2	1階と2階にそれぞれ1,200席のホールがあります。これは、小田原市の規模を考慮した時、同時開催されるイベントがあるとは思えない。したがって、どちらか一つに絞るべきだと思う。	1,200席程度は客席の全体数として記載しています。客席は1階の床レベルから2階の床レベルまで、傾斜しており、1階平面図と2階平面図の両方に表現されているものです。	A 盛り込み済
3	若者をはじめとするコンサートには不向きである。私は数あるコンサートホールを行った経験があるが、このホールのままでは誰も来ないであろう。交通も不便であるし、1,200席なんて少なすぎる。多大なる金を使用するなら、もっと価値のあるホールを造るべきではないだろうか。これからを引っ張っていく、若者向けのホールを設計するべきだ。	大ホールは、多くの市民が優れた芸術文化を身近に鑑賞することを主たる目的とする一方で、市民の芸術文化活動の発表の場としても計画しているため、客席は1,200席程度とし、1階席のみを使用した場合でも空席感を感じることがない、大小ホールの中間的な規模のホールとしても利用ができるよう配慮されています。	A 盛り込み済

舞台関連

No.	意見	市の考え方	区分
4	現在どのくらいの収容数をお考えなのかが分かりませんが、現在の椅子はゆったりした大型になっております、2000くらいは収容したいと考えた場合、ホール全体を長くする、バルコニーを設置する、等を基本設計に加えることも考慮いただければと思います。音響的に良好なホールを造っていただきたいというのが一番の要望でもあり意見です。	大ホールについては、1,200席程度の客席で音響反射板を設置し、生音の響きを活かすことのできる多目的なホールを目指した計画としております。詳細については、今後の実施設計の中で検討していきます。	E 実施困難
5	反響板はどのように設置されますか？		C 検討
6	各地にある会館を利用した（ステージ立ったことを含めて）経験から判断しますと、良いホールとは「音響効果が良い」ことが第一の条件となる様に思われます。これは貸館として良い評判が広がれば、有効な設備として利用拡大につながると考えられます。		A 盛り込み済
7	舞台機能については、袖の広さ、吊物の設備など、照明設備を含めて充実した機能を期待します。		C 検討
8	オケ100名と合唱200名が同時に舞台上に乗れますか？	通常の演目に比べてかなりの大編成となる特殊な演目のため、オーケストラ100名、合唱200名が同時に乗ることに対応できるかは、張り出し舞台の設置等が必要になると考えます。	D 参考

9	素朴な質問として、NHKホールは3000人以上収容の大ホールですが、そこでNHK交響楽団の演奏が日常的に行われ、且つ紅白歌合戦も毎年開催されます。生音のオーケストラとマイク使用の紅白歌合戦をどのように両立しているのですか？	一般的には、オーケストラコンサートでは、音響反射板を使用し、残響時間が最も長い状態にします。歌謡ショーでは、音響反射板は使用せず、音響反射板を格納して幕の状態にし、残響時間を短くすることでスピーカの拡声音を聴き取りやすくしています。	D 参考
---	---	--	------

オーケストラピット

No.	意見	市の考え方	区分
10	1階大ホールは、将来を見据えて、是非可動オケピットを設置したい。借金をしても！建設費、付帯設備等メンテナンス面での経費を十分理解のうえ！	オーケストラピットについては、整備費、稼働率、使用の際の人件費やランニングコスト等のバランスや前舞台として使用することによる多様な演目への対応などに鑑み、その性能を決定していきます。市民ワークショップ意見、専門委員会での意見などを通じて、検討しています。	C 検討
11	オペラをやるためのオーケストラピットは作ってください。オペラは最も高度な芸術・娯楽演目です。劇場が劇場であり続けるにはオペラがレパートリーの主要な部分を占めることが必須です。作るのが大変だからあまり上演されませんが、皆がつまらないと思っているからではありません。このホールでオペラを作りたい、演じたい、観たい、聴きたいと思っている人は大勢います。		C 検討
12	オーケストラピットが未だに図面に載っていない。そもそも基本計画に書いてあることが提案されないのは約束違反であり、次点の設計者に乗り換えることも選択肢となる。		C 検討
13	オペラをやるためにオーケストラピットは必須であるが、芸術文化創造センターの目的・目標を鑑みて、オペラの上演はその最上級の目的となる。オペラは上演に多大の労力を費やすことから、上演回数は多くはないが、それを増やしていこうというのがそもそもの目的である。かつて海外のオペラ劇場の引っ越し公演が盛んであったが、ここに来て下火になっているように見える。先日のNHK音楽祭など手抜き公演というべきである。景気が悪いせいもあるが、それよりも、引っ越し公演を何万円も払って観るのに飽きてきて、ささやかだが自分たちの手の届くところで自ら制作し演じ演奏したいというように世の中が変わってきているのだと思う。藤沢市民オペラは別格だが、市民オペラを有する都市はすでにちこちにある。客席が1200だから、グランドオペラを招聘することは始めからありえない。市民オペラのためのオーケストラピットが必要である。		C 検討
14	オケピは機構にする必要なし。客席をはずし、パネルを立てて作れます。文化予算の無駄遣いも反対。	D 参考	

客席

No.	意見	市の考え方	区分
15	小田原市芸術文化センター平面図から京都コンサートホールに近い中型のホールと判断いたしました、そこで考えられますのは、客席数です。もしも、現在の市民会館と同じような椅子の大きさと収容数をお考えであれば問題であると考えます。	大ホールについては、1,200席程度の客席で音響反射板を設置し、生音の響きを活かすことのできる多目的なホールを目指した計画としております。詳細については、今後の実施設計の中で検討していきます。	A 盛り込み済
16	「小田原市芸術文化創造センター」という名称を苦心の末決定したのは、鑑賞もともかく、市民自らが制作・演奏・演技できるためのホールを実現しようということであった。市民が演じるだけのホールであれば客席数は800で足りるが、鑑賞の要求をも満たす客席数として1200という数値が設定された（市民制作興行に配慮し、1階の客席数が700に設定されている）。すなわち鑑賞と市民制作を両立させる考えが客席数に表れている。		A 盛り込み済
17	客席の座席の設定については、前後の間隔に十分な余裕をもつ。		A 盛り込み済

18	客席内部の構造や壁面の形状、材質については、音響効果に十分配慮し、専門家（妹尾河童氏等）の意見を徴する。	A 盛り込み済
----	--	---------

もぎり・クローク

No.	意見	市の考え方	区分
19	通常「チケットもぎり」はチケットを持つ客と持たない客を区別するためのものである。チケットを持つ客は必ず「もぎり」を通過するよう、あえて入場口を絞るものだが、平面プラン図のうち、1階の大ホールの入り口左側に記載されている「もぎり・クローク」というスペースは片側にしかカウンターが存在しないようである。これでは「入場者を制限する」というもぎりの要件を満たさず、もぎり場は不完全である。もぎり場を設けるとすれば、扉を開放したホワイエ内部である。クロークとは荷物預かりの事であるかと思えるが、もぎり場とクロークを1か所で行うことは有り得ない。当日券販売などのチケットカウンターと、もぎり場、荷物預かりの混同が見られる。機能・目的ともに違うものであり、来場者の求めに応じて一目で解るよう配置をしなければならない。	ホールのホワイエ入口にもぎり台を設置することで、入場口を絞ったもぎりが可能となるよう検討しています。クロークとしての使用方法などは、今後、運用で検討していきます。チケットカウンターについては、エントランス前にあります。	C 検討
20	「もぎり・クローク」の部分に線が引かれ、一見すると大ホール側から事務所側に通り抜けができないように見える。この裏側には、ギャラリー側と同規模のトイレが設置されているが、このトイレは誰が使う想定なのか。たとえばひとつの提案であるが、この「もぎり・クローク」は廃止とする。男子トイレ前で区切られている扉を、技術スタッフ室→大スタジオ前室の廊下部分で区切る。これにより、このトイレは大ホール・大スタジオの客が利用でき、事務所側の人間も、扉を開けて入れば使用可能なトイレとなる。「もぎり・クローク」は大ホールホワイエ内に、長机など備品で対応すれば問題ない。		C 検討

楽屋

No.	意見	市の考え方	区分
21	楽屋控え室の大きさ数はこんなものでしょうか？演奏出演者の為のスペースが貧弱みたい。	施設全体の構成を考慮しながら、大・中・小楽屋をバランスよく計画しています。また、防音にも十分配慮いたします。また、多様な演目に対応できるように、スタジオを楽屋や控室として利用するなど、他の諸室と連携することを想定しています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
22	大ホール、小ホール共に、細かく分割された楽屋等が設定されていますが、力学的に問題のない範囲で大きな構造を設定しておいて、防音機能ももった新技術のパーテーションなどで対応して、将来の変更に適応できるようにしておくべきです。		D 参考

倉庫

No.	意見	市の考え方	区分
23	観客席「中央より後部」および「ホワイエ」にかけての下側の空間を活用することを提案したい。※1ホール左右のトイレ配管に使用（点検・補修が容易）・・・現ホールは床埋め込み式ではないです。楽屋下のトイレ、水漏れがどこか特定できない等の話を以前聞いたことがあるため。※2倉庫・一時保管庫（楽器）等に活用可能。敷地に制限がある以上徹底した空間利用を提案したい。・・・船舶の部屋は限られた空間を最大限活用した設計になっているのを体験したことがあるため、あえて提案したい。	シンプルで使いやすい施設としていく中で、コストとのバランスを考えながら、有効に活用できるよう努めていきます。また、ホールホワイエの左右に振り分けられているトイレについては、ホワイエ中央にトイレを一括配置する修正を検討します。	B 修正・追加

搬入

No.	意見	市の考え方	区分
24	舞台装置や大道具、楽器などを載せた大型車の進入を容易にする搬入経路の確保。	搬入口から、舞台面の高低差を無くすなど、円滑な搬入経路の確保に努めた計画としております。	A 盛り込み済

小ホールについて

一般

No.	意見	市の考え方	区分
25	小ホールはアコースティックが良い。音楽ホール（ロック、歌謡曲でない）に特化すべきだと思います。せっかく建てるなら十分な能力、魅力を持ったものが一つは欲しいです。	生音の響きが求められる音楽利用から舞台芸術作品の上演まで、多様な演目に対応する多目的型として計画しています。	A 盛り込み済
26	市民とゆるやかな創造的関係を築くには出演者の顔の表情が客席から自然に見える小劇場空間が必須だと思います。小ホールでもやや大きいのではないのでしょうか。	どの席からも十分な鑑賞環境を確保する計画とします。	A 盛り込み済
27	客室と舞台の境界は演劇（芸術）空間では様々な形態を今後とると思います。客席vs舞台という構造はその一つに過ぎないと思います。基本はフリースペース、座席がカスタマイズできる空間が必要な気がします。ワークショップ・パフォーマンスの連動や創造的活動に対して、これまでの市民会館と何が違っているかがわかりません。	小ホールは段床式の固定席として計画しています。任意の位置に舞台や客席が配置でき、舞台芸術や音楽芸術の公演だけでなく、自由な発想での利用ができる平土間の室として大スタジオを計画しています。	A 盛り込み済
28	北側に張り出した1階と2階に計画された、それぞれ300席のホールは取り止めて、1階の1,200席のホールの場所にするべきと思う。	客席の床は1階から2階まで、階段状になっています。図面上、客席が1階平面図と2階平面図の両方に表現されているものです。平土間での小規模の公演については、大スタジオで行える計画としています。	A 盛り込み済
29	小ホールも2層は入らないのでは、2階建てにしてもう一部屋増やした方が使いやすい感じがする。旧市民会館を併用して使用するのかな？舞台ばかりで平面のホール部屋が多目的につかえるのでは？		A 盛り込み済

ギャラリーについて

一般

No.	意見	市の考え方	区分
30	けやきホールは約400㎡、市民会館3階小ホールは約270㎡、2階展示室は120㎡です。小田原市の主催する市美術展はけやきホールに会議室を加えての開催であり、市民文化祭の西相展は市民会館の小ホール、展示室、1階ロビーを加えての開催です。いけばな展は小ホールと会議室等を使用しての開催です。 この現状において、提示されたギャラリーは256㎡+56㎡の最大302㎡であるとのこと、市の主催する市美術展や市民文化祭の展示関係がこの大きさのギャラリー会場では無理といえます。	現状での既存施設を利用した展示方法と、今回のギャラリーとは異なる仕様で、より良い展示環境を実現しています。面積については、大スタジオ等他の施設機能との連携した利用なども含めて、今後さらに検討をしていきます。	C 検討
31	展示するということにおいてはギャラリーも美術館も同様でありそれだけの展示空間を維持しなければならない。補助会場として大スタジオを想定するのはいかがなものか。むしろギャラリーの大きさを少しでも最初の計画の400㎡に合わせる必要があると提案します。		E 実施困難
32	現提示のギャラリーの搬入口側に1ブロック56㎡を増やすことはできないだろうか		C 検討
33	大スタジオが少し細長くなり、ギャラリーが大スタジオ側にひろがるというのはいかがでしょう		D 参考

34	神奈川県内を巡回する展示会の対応が見えてません。どこまでうけ入れる予定ですか。今のままでは、残念ながら。神奈川県華道展はできません。	C 検討
35	暗い、狭いと言う、美術鑑賞には程遠い環境の中で、西相展を見て、市民の皆さんはアンケートで「とても満足」、「満足」と皆書いてくれています。長年見てきた環境に慣れてしまったのでしょうか、淋しいことです。一方、発表する立場からは、苦勞して仕上げた大作も、正しく見てもらえない悲しさがあります。これらの問題が、新施設によって一挙に解決するものと期待していましたが、計画が進むにつれて、これは夢だったかと感じるようになってきました。	D 参考
36	計画が進むにしたがって、ギャラリーが縮小されてきてしまった。当初の基本構想策定時では、ギャラリーは400㎡。敷地が限られているので、必要な面積を確保するにはギャラリー以外のスペースを活用するしかないと言われてきました。策定委員会の中で、必要とする壁面長は300～330mと説明。24年2月の案では、これが350㎡となり、準備室・備品庫・ロビーを含めて450㎡と提示されました。その後、これに基づく350㎡の設計図が示されました。また、小ホールホワイエとの連携で、530㎡の展示が可能。さらにオープンロビー・大中スタジオと連携すれば、1,120㎡ができ、すべてを連携すれば、約1,700㎡の大型イベントも可能と示されました。そして第3回基本設計案が出されましたが、(ギャラリーの位置も変わる)ギャラリーはさらに縮小されてきました。今回初めて図面を手元にいただき、それを基に算出してみました。その結果、ギャラリーの実質展示面積は266㎡でした。(図面の上には数値は入っていませんでしたが、唯一記載されている道路幅4mの長さを基に算出しました。正確ではありませんが、大きな差異はないと思います。)試算した結果、壁面長は189mとなる。	D 参考
37	第3回基本設計案でいくと、西相展の開催は不可能となる。市民会館との壁面長の比較(市民会館300m:計画案189m)壁面長の合計は189mで(現行の63%)111mの不足。一階の25m分(現在洋画展示)、ロビーの40m分(現在洋画展示)、渡り廊下の40m分(高校生作品)、この分は、確実に展示できない。	D 参考
38	春の市美術展では、けやきホールで日にちを分けて絵画部門と書道・写真・工芸部門と実施しているもので、それぞれホール全面を使用している状況です。また、秋の市写真展では出展者が年々増加し、けやきホールだけでは足りなくなっている状況です。この度の芸術文化創造センターのギャラリー面積が非常に狭い設計で、けやきホールの約1/2程度であります。	D 参考
39	図面において道幅4mをもとに一般の物差しで測って概算してみると、ギャラリーの柄杓型の杓の部分の面積がおおよそ203㎡及び柄の部分43㎡、合計246(約250㎡)と推計され、上記の構想で提案されている350-400㎡の60-70%となっています。さらに柄杓型という形状から考えても、他の公演系施設の残り部分に無理やり押し込んだという感を否めません。すなわち構想や計画をしっかりと反映したものとはいえません。	C 検討
40	実際に小田原市の美術振興の眼目たる「市展」がここで発展的に開催できるでしょうか。	D 参考

41	今後どうするか。①若者育成のために進めてきた、「高校生の部」をやめるか。それでも展示壁70m不足。②一般公募をやめるか。会員・会友の数と、一般出品者数はほぼ同じのため、公募をやめれば高校生を入れてできる。③公募作品の展示日を別にする。一緒に展示することの効果は大きい。(お互いの一体感、盛り上がり)。別々の開催は私たちのゴールではない。④西相展は、会場を別にする。どこでやるかが問題。⑤敷地の問題から、これ以上スペースがとれず、やり繰りが出来ないのなら、いっそここの施設はホールだけの施設にして、展示の施設は別に設ける。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
42	設計者について。設計者は、ホールの設計者は専門であろうが、ギャラリーについてはどうか。疑問を感じることもある。(例)①ギャラリーであれば、当然なくてはならない搬入口が当初案になかった。②100号の絵が100枚かけられるというが、どこからその計算が出てきたのか。どう頑張っても80枚が限度です。4mの天井の場合、新国立美術館のように中間にピクチャーレールを付けるなどの検討も必要と思います。実際の作業面を考えれば。	100号100枚としての検討については、市民ワーキングと専門委員からのご意見をもとに、展示環境の質を確保した上で、最大限の展示面積がとれるように対応したいと考えています。	D 参考
43	説明によると、不足の場合は、大スタジオも利用できると思いますが、平面図を見ると、大ホールの入口で2分されています。もし大ホールで催しがあり、開場までの間、お客さんがギャラリーと大スタジオの入口前に滞留することとなると、ギャラリー鑑賞の人は、そこを横切らなければなりません。(この設計ですと、小ホール、大ホールに来られたお客さんはそれぞれの入口まで入場することとなります。開場時間まで1千人以上の方が滞留することとなりますが、この点のことも考えなければならないのではと思います。)	大スタジオとギャラリーの連携については、催しの規模や頻度、相互に利用される時間帯などを考慮し、運用において対応します。	C 検討
44	限られた敷地の中でこれ以上の面積要求は無理ではないかとも思っていますが、ギャラリーと大スタジオをつけ、防音扉を開けると一体となって使用可能な設計は出来ないでしょうか。そして、大ホールの入口をセンターにこだわらず、北側(現図面の技術スタッフ室方向)に持つていくことによって、災害時の避難経路の分散も図れるのではないかと考えられますがいかがでしょうか。ご検討をお願いいたします。	大スタジオとギャラリーを接続した場合、それぞれの独立した使用に支障が出ることや、避難上の問題が発生することが考えられます。また、大スタジオは浮き床構造であり、ギャラリーと繋げることは技術的に難しいと考えております。避難計画については、建築基準法や消防法など、関係規定を遵守しながら、基本設計の中で検討していきます。	E 実施困難
45	天井までの高さは示されていませんが、構想に述べられている4m程度の高さは(2階にスタジオが2室あっても)確保されているのでしょうか。	有効天井高4m程度を確保する計画としています。	A 盛り込み済
46	細部については、計画には可動パネルでしきるとありますが、パネルの構造(全面壁あるいは衝立式)はどのように想定されているのでしょうか。またその収納はどの部分はどこでしょうか。右側の空間でしょうか。多様な展示用途を謳っていますが、ワークショップや講演の机や椅子はどこに収納されますか。	可動間仕切りにより展示壁面長を補うとともに、小展示空間に分けた区画としても活用できる自由度の高い展示空間としています。可動パネルや可動間仕切りについてはパネルを収納できる計画としています。全体のコストとのバランスを考えながら、詳細については検討していきます。	A 盛り込み済
47	複数の異なる展覧会・展示会などが開催される場合、衝立でなく完全に空間を分離できる構造が必要と考えます。		A 盛り込み済
48	私たちの作品展示の性質上、長大な壁面長を必要としますので、パーテーション等の柔軟な配置により十分な壁面長を確保できるよう、また、太陽光の入射を避ける、照明の反射を避けるといった照明上の特性にも留意して、写真作品の快適な鑑賞環境を備えていただきたいと要望します。		A 盛り込み済

49	計画には、賑わいが外にあふれ出る・音楽とのコラボレーション・大スタジオやワークショップ・ルームとの連携とあります。ギャラリーの出入り口2か所が大スタジオ側に開いており、連携イベントの可能性を示唆するものと思われます。しかしながら、ワークショップ・ルームは、2階の遠く離れた場所にあり、これらとの密な連携には難しさを感じます。大スタジオとの連携には倉庫などの共同利用も含まれるのでしょうか。通路を挟んでの道具・用具の運搬は得策ではありません。	備品や運営ルールについては、管理運営実施計画や開設準備において検討を行います。諸室の連携や動線については、基本設計において施設全体のバランスや諸室の機能を踏まえて検討していきます。各機能が連携して利用できるよう配慮して計画しておりますが、ワークショップルームとスタジオの連携については、運営方法も含めた考え方の整理が必要だと考えています。	C 検討	
50	ギャラリー倉庫がギャラリー出入口と離れて設けられていますが、作品の展示用具保管や作品の一時保管には不便かつ極めて狭隘と思われます。		C 検討	
51	公募受付も展示場で行う場合も想定されますが、ギャラリー隣接（開口）として倉庫・備品室および庶務室は、専用に設置するべきと考えます。		D 参考	
52	搬入口は、企画展などにおける大型作品の搬入（主として搬入業者）には搬入口を利用できるとは思いますが、公募展などでは駐車場から個々に搬入することが一般的です。物差しで測ると駐車場からギャラリー扉まで約50mはありそうで、かつ一般通路を数回折れて通らなければなりません。天候に左右されず容易に作品を搬入する動線が確保されていないようにも思えます。ギャラリーと駐車場を直接結ぶ一般搬入路を設けると良いと思います。他市の複合型文化施設には、けっこう不便（距離があたり階段があたりする）などところがあります。		C 検討	
53	全体に、公演系の諸施設・諸設備が十分な配慮をもって配置されているのに対し、展示系は専用付帯設備も少なくお座なりの感を禁じえません。		D 参考	
54	私は現在、写真芸術団体に所属して活動しており、県内各自治体のギャラリーを発表の場としております。このたびの基本計画では、展示系機能（ギャラリー）の規模は床面積350㎡程度とありますので、県内他施設に劣らない十分な規模かと思えます。		ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
55	全体の配置についてはギャラリーが窓から見えた方がお客さんが興味を持ってくれると思います。		D 参考	
56	ギャラリーは現状に比べ広すぎるので縮小すべき。	D 参考		
57	これまでの施設内容の検討経過を照らすと、ギャラリーを中心とした展示系機能が、面積的な縮小もあり、実現できていない状況だと思ふ。文化連盟においても、このホール計画がはじまった平成初期から、要望を出しているが、結果的に実現が難しいということであれば、これを機会に、何か新しい考え方へと変えていく必要があると思ふ。	D 参考		

スタジオについて 大スタジオ

No.	意見	市の考え方	区分
58	大スタジオに想定されるのは、大ホールの稽古(リハーサル)、小劇場としての演劇公演、講演会、バレエ・ダンス等の練習、小規模のライブとあり、スタジオは最低限スタジオとしての演出設備機能をもった舞台空間は維持しなければならない。大規模展示会の補助会場としてつかえるかが課題とされている現状。	大スタジオについては、ギャラリーとの連携を考慮した計画としておりますが、どのような造りや構造、デザインにすれば各機能を担保した上でもっとも効率的に連携が可能になるか、今後実施設計の中で詳細に検討していきます。	C 検討
59	大スタジオを補助会場としての開催を行ったとしたら、その展示空間は、ギャラリーとの差はどのくらいあるのだろうか・・・高品質の展示会を目指すことはできなくなっていくのではないだろうか		C 検討

60	カフェを二階に移せば、懸案である大スタジオの広さも融通が効くのではないか。(これはまた別の話だが、8間×8間厳守せよとは言わないが、8間×7間は確保していただきたい。ちなみにディレクターズルームとやらは単なる誤魔化しであり、私は面積として認めない。)	大スタジオについては、大ホールの舞台面を考慮し、8×7間程度にできるか検討しています。敷地やコスト、ギャラリーとの連携などのバランスを考慮しながら広さについて決定していきます。	C 検討
61	大スタジオの面積が議論となっていますが、基本計画のとおり「大ホールの主舞台に準じる広さ」とし、可能であれば8間×8間としたほうが、大ホールでの催事のリハーサルなど利用の幅が広がると思います。		C 検討
62	大スタジオの大きさは大ホールのリハも想定した8×8にこだわるべきと考えます。不足する面積は上記の諸室の調整をしても確保する価値があると思います。基本計画の創造機能を多少減じて、プロの使いやすい施設に特化して、西湘地域の中核ホールとしての機能に集中するのが将来の経営を考えても好ましいと考えます。		C 検討
63	ホール入口、エントランスから大ホールまでに大スタジオがあることにより、ロビーの広さがホール全体の印象とは違い、非常に狭く感じられて、(大スタジオスペース)がなぜこの位置でなくてはならないのか。また必要性があるのか。	大スタジオは市民が芸術文化の創造活動を行う場として、またその日常的な活動を支援する機能を担うため、芸術文化創造活動の公演、練習やリハーサル、展示、ホールの楽屋、懇親会会場など様々な用途に利用できる室として計画されています。そのような機能を持つ大スタジオをホールの顔の一つとして前面に配置し、その活動を発信させる設計者の案は非常に有効であり、この施設に不可欠なものと考えております。また、避難計画については、建築基準法や消防法など、関係規定を遵守しながら、基本設計の中で検討していきます。	A 盛り込み済
64	大ホールから非常事態が発生した場合の脱出出入口の数が少なく、また、通路が1.8mの通路及び正面入り口からの人の移動を考えると、パニック状態になると思われる。その時の為にもロビーは広いスペースが必要であるから、(大スタジオ)はいらない。		A 盛り込み済
65	入口から入ってすぐに大スタジオはいらない。ここにこんな大きな面積をとるならば、もっと大ホールを大きくすべきではないか。		A 盛り込み済
66	大スタジオという呼称は、公演系を想起させるものであり、計画本文にも主として公演系について記述してあって、展示系は「連携」すなわち「従」と位置付けられています。むしろ「けやき」のホールのような機能を想定し、“スタジオ”でもあり“ギャラリー”でもあり、“イベント広場”でもある「多目的で開放的な空間」を意味する呼称をつけたいかがでしょうか。		A 盛り込み済
67	センター正面からの直接アプローチも開放するのがよいと思います。		D 参考

小スタジオ

No.	意見	市の考え方	区分
68	小スタジオも他にありなくても良い。	小スタジオは、個人や少人数での練習やリハーサルなどが行える室および音響や映像などの録音、編集、制作などの作業が行える室を計画しております。規模や数については、施設全体のバランスを考慮しながら検討されたものです。ここでの活発な活動がこの施設のにぎわいを支えるものの一つとして考えています。備品については今後の実施設計を踏まえて検討していきます。	D 参考
69	二階の小スタジオが二つ設定されていますが、バンド練習などは、諸般の事情を考えて、現時点では力点を減じて他の施設の充実を考え、小楽団の録音および練習に特化した性能の高いものにして、細かい部屋をたくさん作らないようにするのが好ましいです。		A 盛り込み済

ワークショップルームについて

No.	意見	市の考え方	区分
70	ワークショップルームを、練習室①100名収容、②70名収容、30名収容	ワークショップルームは、ワークショップや会議、小規模のレクチャーなどが行える室として計画されているもので、必要に応じて隣室と一体的な利用が出来るよう、検討しています。	A 盛り込み済

事務室について

No.	意見	市の考え方	区分
71	事務室に26人のデスクが配置されていますが、本当ですか。	今年度策定する管理運営実施計画において、実施する自主事業内容や本数、運営ルールなどを検討しており、その考え方をお示しする予定です。それを踏まえ、施設を維持管理するために必要な職員や自主事業等を企画し、実践する職員数を想定したものです。 市が目指す文化政策のあり方、事業規模を踏まえた上で、今後この施設を最大限に活かしていくために、市民とともに活用し育てていくスタッフが必要となります。そのためにも、適正な人員を配置できる事務室機能を検討していきます。	A 盛り込み済
72	敷地に対して、なかなか、苦勞が多い平面プランだと推測します。設計者の新居さんの腕の見せ所だと思います。気になるのは、いちばん狭いところ（ギャラリー、大スタジオ、事務所、小ホール）の、南北方向の配置です。事務所の大きさを狭くしたいと設計者はおっしゃいましたが、別次元のことではないかと思ひます。事務所の位置は、施設機能としては、この場所がベストでしょうが、ギャラリーが狭くなっていること、大スタジオを広げたいという要望が多いとすれば、事務所の位置を2階に持っていき、受付のみ残す方法か、同様に、事務所を小ホールの楽屋などがある裏側に持っていく方法も考えられるのではないのでしょうか。事務所に用事があるひとは、限られたひとだと思いますので、どこのホールも、理想的な位置には置けていないと思ひます。先日、伺った鎌倉芸術館も、2階に事務所がありました。検討していただきたいと思ひます。		D 参考
73	事務室、技術スタッフ室、清掃員室などが別に設定されていますが、将来の運営組織形態を設計が規定する事になってしまいます。技術スタッフと事務職、現業職が一体となった組織運営もより能率的で現場主義の運営として考えられるからです。部屋のあり方が、将来の多大な組織と人件費のあり方を縛るような事のないように、現段階では無目的な部屋として設計し、将来の組織変更にも対応できるようにすべきです。また技術スタッフは、調整室などに作業のしやすい常駐スペースを確保する事も考えられます。		C 検討
74	管理室の大きさの議論も何故25~30人必要なのか議論されていません。人件費はいくらかかると想定しているのでしょうか。全てにおいて一番大事な予算の事がすっぱり抜け落ちています。		C 検討

オープンロビー・ラウンジについて

No.	意見	市の考え方	区分
75	現在の市民会館のギャラリーは多用されていません。そこで一つの提案ですが、図面のギャラリーを大スタジオと共用のものとし、図面上の大スタジオを消して、ロビースペースとしませんか。ゆとりのある空間が誕生すると思うのですが。コーラスグループの練習場は小田原では必要とされています。ギャラリースペースは余りにももったいない。例えば、ひと月のうち1週間をギャラリー使用の日数とし、あとは大スタジオとして使用すれば良いのです。時間差での多用途です。そうすれば、広いロビーが可能となり、ロビーコンサート等も可能となります。新人の登竜門ができます。	基本設計において、オープンロビーは、市民が日常的に集い、交流するにぎわい作りの場として、気軽に訪れることができるスペースとして計画しています。オープンロビーでの小規模なロビーコンサートの開催も可能な計画となっています。	A 盛り込み済
76	ワークショップルームやスタジオなどが想定されていた2階お城側のスペースがどういう経緯でオープンスペースになってしまったのか理解に苦しむが、予算の都合なのだろうか。そもそもオープンスペースが必要なのか。オープンスペースを作って何がしたいのか。「お城が見える」云々という説が耳に入るが、そもそも、2階程度の高さで本当に小田原城が見えるのか。現在、二の丸広場・本丸広場の周囲に生い茂る植栽のために、道路からでは城は見えない。過度に景観にこだわり、広いオープンスペースを作ることは、それこそが無駄である。	基本設計において、オープンロビーは、市民が日常的に集い、交流するにぎわい作りの場として、気軽に訪れることができるスペースとして計画しています。施設のにぎわいを生み出す場所として必要だと考えています。	D 参考
77	誰でも入れるオープンスペースは、一見すると自由度が高く、誰に対しても施設を開放するという点で公益性が高い気がするが、無目的にセンターにやってきて、無為に時間を過ごす人がいるとは考えにくい。		D 参考
78	警備・安全管理などのコストが余計にかかるのではないかと。二階オープンスペースの近くにあるのは、小スタジオ二室である。やんちゃなバンド小僧の溜まり場になることは想像に難くない。だけでなく、スタジオ利用者は、意外と高価な機材や楽器を持っている。スタジオ内の付帯備品にしても、同じである。防汚や防犯の観点から、これだけ事務所から離れた場所にオープンスペースを作り、不特定多数の人間が出入りする状態を作るとは、施設全体の管理に負担をかけることは、まず間違いない。	基本設計において、オープンロビーは、市民が日常的に集い、交流するにぎわい作りの場として、気軽に訪れることができるスペースとして計画しています。多くの市民がここを訪れ、くつろぎ、時間を費やすこと、身近に文化に触れることが出来るような施設にしたいと考えています。また、監視カメラや防犯設備等の設置など、施設の維持管理費の考え方については、管理運営実施計画の中で検討しています。	C 検討
79	一階のカフェを、二階オープンスペースに持ってくる。アート広場にカフェ席を出すことは出来なくなるが、二階テラス席でも出せば良からうと思う。面積的には、一階カフェと二階オープンスペースはだいたい、同規模であるように見える。オープンスペースは1階の総合案内付近に設け、文化情報スペース～アート広場との絡みで全体的な寛ぎの空間、賑わいの空間が生まれるほうが良い。施設管理者の目の届くところにこそ、オープンスペースは設定されるべきである。	基本設計において、オープンロビーは、市民が日常的に集い、交流するにぎわい作りの場として、気軽に訪れることができるスペースとして計画しています。また、施設の運営ルールについては管理運営実施計画の中で検討しています。また、2階のオープンスペースには、自動販売機置場を検討しています。	C 検討
80	屋内に広場の機能を持つ空間がなくどこも通路的です。市民が自然発生的に集ったり寛いだりする機能が見当たりません。カフェは有料でしょうから公共的な設備からは除かれます。ここまで来てしまうと、「芸術文化創造センター」は創造センターではなく、当初に懸念したように劇場コンプレックスでしかないと考えられます。	基本設計において、オープンロビーは、市民が日常的に集い、交流するにぎわい作りの場として、気軽に訪れることができるスペースとして計画しています。敷地やコストなどのバランスを考え、市民が集い、くつろげる空間を配置いたします。	A 盛り込み済

81	多くの市民を呼び込むためには、日常的な運営が重要です。誰でもが気軽に鑑賞できる、無料のロビーコンサートや展示会が日々行われると良いでしょう。オープンスペースにはそのためのしつらえの充実が肝要です。	詳細については実施設計の中で検討していきます。オープンスペースは、にぎわい創出や身近に文化芸術に触れる場として、ロビーコンサート等を開催したいと考えており、そのための機能や運営方法を検討していきます。	A 盛り込み済
82	二階のテラス近くに配置されている和室やフリースペースは当初、一切つくらず広い空間としておくことが好ましいと思います。その分床を強固なものにして、木造の和室や様々な建築内小建築のようなものが作れるようにしておいて、将来の様々な試行に備える事が良いと考えます。開館時には、お城が眺められる広いフリースペースとして、市民や観光客に開放しておき、その後の動向で、様々な小設備を追加・変更していけるようにする事が費用削減の立場からも好ましいと考えます。	基本設計と並行して管理運営実施計画において、運営ルールについて検討していきます。	C 検討

施設全般について 全般

No.	意見	市の考え方	区分
83	デッドスペースが少ないように、もしくはデッドスペースを活用できる工夫を。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
84	機能美がある建築物だと嬉しい。(バウハウスの)		D 参考
85	大スタジオと大ホール、小ホールの関係が・・・同じようなものが多い、そこまで市民が使いこなせるだろうか。2階には別にスタジオがある。	大・中・小スタジオのそれぞれの機能に合わせた演目や規模等、様々な活動が可能になります。詳細については実施設計において検討を行います。	C 検討
86	音楽鑑賞、演劇、その他それを楽しみながら、自販機とか売店でなく、お茶を飲み、お食事をして、日常とは別の空間を感じる。そんなところを是非作って下さい。	ハレの場にふさわしいクオリティを確保するとともに、シンプルで使いやすく、レストラン・カフェを想定するなど、にぎわいのある施設を目指しています。	A 盛り込み済
87	誰が施主なのか、有名建築家の方々はよく分からない発言をされる方が多いが、今回の施主は、現在の市民あるいは将来ここを使うであろう市民ではないのか。余計な意匠は不要で、にぎわいはここで行われる催し物、それに携わる市民が起こすものだろう。	市民のみなさんのご意見をもとに検討を重ね、市民が主役となる施設を目指しています。	A 盛り込み済
88	センターの模型で正面右側の屋根が途中で切れ、屋根が連続していない。デザイン的におかしい。	ご意見として参考にし、より良くなるよう、検討していきます。	C 検討
89	部屋数が多く、入り組んだ構造のように見えます。案内表示の充実を求めます。利用者が迷わない様に。	サイン計画については、今後の実施設計や管理運営実施計画を踏まえて、検討していきます。	C 検討
90	施設が巨大化しすぎて、純粋にワーキングに参加していた市民にとって、使いにくいホールになってしまった。巨大化した理由、一部の権力を持った市民(文連、音楽連、無尽蔵)と市との「しがらみ」と、見えないところで行われている、機構業者が入っている、非公開会議が原因と思う。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら、シンプルで使いやすい施設となるよう基本設計を進めています。舞台設備業者選定プロポーザルについては、基本設計では行わないこととし、設計者と協議を重ね、市民のみなさん、設計者、専門委員のご理解、納得をいただける方法を検討していきます。	C 検討

91	以前、あるアーティストのライブに市民会館に行った時の事、ライブ中のトークで「ここは昔来たことがあるけれど、楽屋がお化けがでそうになっていて、ビックリです」と言われてしまいました。出演する方も、見に行く方も楽しく快適な空間のホールを希望します。贅沢ではなく、快適が良いと思います。	楽屋も含めて、施設全体が快適な環境でご使用いただけるよう計画していきます。	A 盛り込み済
92	大ホールと小ホールと練習場所があれば良い。土地も狭いし、10年経てば、物価も上がっている。予算も苦しいでしょう。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
93	狭い土地に詰め込んだプラン		D 参考
94	当初プラン通り、良いホールを持った建造物を建てるのが重要。様々な市民の要求をすべて満たすことは2倍の土地と2倍の予算が無ければ不可能。現状で、すべての要求に応えようとすると、すべてに半端なものが出来てしまう恐れがある。良く考え、良い物を建て、工夫しながら使う。建築物は魅力的なある意味パーフェクトなものでありたいと願っております。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら、シンプルで使いやすい施設となるよう基本設計を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	A 盛り込み済
95	市民ホール基本計画では、近隣の住宅環境に配慮するとされているが、現在の計画では、配慮されているとは思えない。現在の市道より北側にギャラリーを立ててほしい。駐輪場を南側にすれば良いのではないのでしょうか。	ギャラリーの位置については、限られた敷地条件の中で、施設全体のバランスを考慮しながら、配置計画を行っております。また、外部には植栽を計画するなど、南側近隣の住宅環境への配慮について検討していきます。	C 検討
96	この場所で生活を続けるので、プライバシーに配慮して欲しい。ホール側から私の建物をのぞけないようにして下さい。安心して生活できないのではないかと不安です。		C 検討
97	新しい道路から北側に10mは離して建物は建ててください。	施設全体の規模や、駐車場や広場も含めた施設配置を考慮すると、一部において10m以上北側に建築することは困難ですが、植栽を計画するなど、生活環境への配慮について検討していきます。	E 実施困難
98	ギャラリーを広場に変えてください。お願いします。		E 実施困難
99	お茶を飲みながら食事のできる素敵な空間ができたら嬉しいです。	レストラン・カフェを計画しています。	A 盛り込み済
100	市民の全てが親しく利用し易い施設にするためとはいえ、人を呼び入れる目的を優先するあまり、レジャーランドのようなものになっては困ります。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
101	芸術を鑑賞する時、感動はそれを包み込む空間と共にもたらされます。そのような空間のありようとして私が望むのは、日常性を超えたところにある、ドラマチックで、適度な緊張と品格です。これは、高額な費用をかけずとも、いや、むしろ、低予算を逆手にとって、無駄をそぎ落とす質素で根源的な空間をめざしてこそ実現できるはずで、この実現こそ建築家の腕の見せ所です。大いに期待するところです。	ハレの場にふさわしいクオリティを確保し、過剰なしつらえは控え、シンプルで使いやすい施設を目指しており、詳細については実施設計において検討を行います。	C 検討
102	自然環境に恵まれ、国際的な観光地を控えた県西地区に本格的な作品発表の場が誕生することを期待しております。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
103	ガラス張りの場所を多くした方が、明るくて雰囲気が良くなって、入りやすくなると思います。	詳細については実施設計の中で検討していきますが、ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
104	敷居の高い文化の殿堂というよりは、どんな人でも気軽に立ち寄って利用でき、常に人がいるような、市民みんなに親しまれる施設であってほしいです。	基本計画において、「芸術文化活動の中核として市民に愛される施設」や「誰もが快適で安心して利用できる施設」とすることを掲げており、建築物（ハード）だけでなく管理運営（ソフト）においても、実現できるように検討を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	A 盛り込み済

105	ホール内の居心地の良さが、同時に満足できる、雰囲気のある壁や天井の形状や、ゆったりとした椅子などが来場者のレポートにつながれば、にぎわいの創出になります。	ハレの場にふさわしいクオリティを確保し、過剰なしつらは控え、シンプルで使いやすい施設を目指しており、詳細については実施設計において検討を行います。	A 盛り込み済
106	年に1回や2回しか使用頻度の無い設備は不要。使用頻度の高い設備に重点的に充実させるべき。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
107	アマチュアの各市民団体が使う頻度も高いと思われるので、その面の配慮も必要。		D 参考
108	全体として将来の機能変更、組織変更に耐えうるように細かい施設はつくらず、そのかわり丈夫な躯体の広い空間を確保する方針として、電源系統、空調、諸配管系統なども分割管理の可能なしなかけを考えておくべきです。その点についてはすでに十分な考慮をさせて頂いているようですので、そのような工夫についても今後市民に明示して頂ければと思います。	最終的な基本設計案については、市民説明会を開催することを予定しています。詳細については改めて市HP等でご案内させていただきます。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
109	どういった目的でこのホールの設計を作ったのか。これではただのコーラス部やダンス部だけを集めているだけだと考える。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
110	平面プランに関しては、とても良いと思います。	今後より多くの市民のみなさんにご理解いただけるよう、事業の周知に努めていきます。	A 盛り込み済
111	以前の城下町ホールに比べれば、はるかに使いやすく考え込まれたホールになっていると思います。これは今まで、市民、文化部、専門委員が長い間議論してきたことを、設計者が汲み取ってくれたからだだと思います。		A 盛り込み済
112	前回の奇抜で途方もない設計プランと違い、現実的で素晴らしいプラン		A 盛り込み済

バリアフリー

No.	意見	市の考え方	区分
113	前の座席がすべて取り外し可能というのでその左右を希望できればいいが、通路を少し広く取るか、座席前を少し広く取り、通路前座席一行を取り外し可能な席にし、車いすの人が来た時に対応する。理想を言えば左右一席くらいを空間にし、当日券の車いす者に対応できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・前が通路だと、車いすのステップに人がひっかかる経験を何度もしているので。 ・前が通路だと、人が行きかう都度に、悪気はなくても人に見られて本人も介助者もあまりいい気分はしなくて落ち着かないという意見があった。 ・先日、全国の集会に出たときにも一列取り外し案だった。 ・県の街づくり条例案も通路前でした。 ・親子BOXの要望が出ていたがどうなったか？ 街づくり条例にありました。 	車いす使用者用客席については、避難経路や目線の確保などに配慮するなど、円滑にご利用できる位置として計画しています。 また、親子席ブースについては、大小ホールともに設置する計画としています。	A 盛り込み済
114	車いすトイレの他に男女トイレの一番奥を少しだけ広くとりオストメイトの人に対応できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域政策課(小田原駅東口お城通り地区再開発事業)の障害者への聞き取りの際に日本オストミー協会の方の意見です。予算がなくて出来なければ将来付けられるように広さだけとっておいて下さい。器具図面、政策課にあると思います。 	みんなのトイレについては、オストメイト対応できるように計画しています。	A 盛り込み済
115	随所に障害者用WCを設置するなど、良いプランだと思いました。	適切な箇所に設置する計画としています。	A 盛り込み済

災害対策・避難

No.	意見	市の考え方	区分
116	火災や災害が発生した場合、大型消防車等、車両がお堀通りからホール会場への移動配置に支障を起こすのではないかと。	建築基準法や消防法など、関係規定を遵守しながら、避難計画については、基本設計の中で検討していきます。	D 参考
117	2階小ホールからの外への非常階段は設置されているのか。図面では一ヶ所であるが、検察庁側にもう一つ設置することは出来ないのか。		D 参考

コスト

No.	意見	市の考え方	区分
118	小田原の身の丈に合った、将来に負担を残さないホールをお願いします。大切な税金です。無駄をせず、予算内で市民が使えるものをつくって下さい。	基本計画に示された建設費を基本として進めておりますが、震災後の資材、人件費の高騰や消費税増税などの経済情勢の変化にオリンピック招致等の影響も加わり、今後さらに厳しい状況となることが考えられます。 これまでにいただいた市民や専門家の意見を出来る限り反映させながら、建設費を抑えるための努力を続けていきたいと考えています。	C 検討
119	予算を60億円で作って下さい。		C 検討
120	予算をオーバーしないでください。使用する側の意見と観客の市民の意見、市の予算規模のバランスが取れているのでしょうか。（予算オーバーするらしいとの噂が聞こえてきます。地下街の改装も予算オーバーするそうです。自分の家でも予算オーバーしますが、払えるかどうかは判断も責任も自分でとります。自治体の考えは他の分野の予算を減らしてやっていけるといふ事なら、市民生活は困窮します。（“夕張市”にはなりたくない）		C 検討
121	大きな期待と不安があり。期待は際限なく広がる。しかし、市財政も厳しい現状、せつかくの充実の方向の施策の足枷になっては意味がない。当初提示された見積もり予算を超えないように。		C 検討
122	決められた市の予算内で（六十億円）行ってほしい		C 検討
123	いろいろな要望をくみ取るなかで、「あれも、これも」となってしまった感があり、財政規模が膨らみすぎていると思います。せめて、「城下町ホール」の予算規模を絶対に上回らない範囲（それも、かなり下回って）に抑えるべきと主張したい。		D 参考
124	予算内で、大人も子供も楽しめるイベントが出来るような親しみやすいホールになるよう期待しています。		C 検討
125	子供たちや将来に金銭的な負担が残らないような小田原らしいホールをお願いします。		C 検討
126	大切な税金なのでなるべく費用を少なくしてほしいです。		C 検討
127	大切な税金を使っているので無駄をせず、予算内で市民が使えるホールを作ってください。		C 検討
128	50年に一度の大きな事業だから、文化活動を行っている人は、この際何とか自分たちの活動がしやすいようにと、いろいろな意見が出るのは止むを得ないと思うが、それ以外の多くの市民は、それよりもシンプルで事業費のかからない施設にして欲しいと思っています。		C 検討
129	一部施設を縮小や断念しても整備事業費は50億円程度に抑えて欲しいと思います。		D 参考
130	すばらしい芸術文化創造センター平面プランを拝見しました。このプラン実現のために是非60億円予算以内に納めていただきたいと思います。		C 検討
131	すでに建設費が決まっているのであれば、それを超えない設計にしてください。税金が使われていることを忘れずに！	C 検討	

132	建設費は基本計画で定めた範囲内とし、「芸術文化創造センターのせいで税金が高くなった」などと将来に禍根を残さないような施設にしてください。贅沢なものは要りません。利用される方がその都度色付けできるような、シンプルで使いやすい施設を望みます。		C 検討
133	予算には限りがあるので、その中で最大公約数的なものを作るという制約がある。20万都市小田原の身の丈に合ったホールであることが望まれる。		A 盛り込み済
134	芸術文化創造センター建設の推移は1市民としても、関心と期待をもって見守っているところです。そこで大震災復興、オリンピック、消費税増税など建設費がかさむことが懸念されます。各地の公共事業による建築などで入札不調が相次いでいるのもそうした環境が大きく影響しているのでしょうか。芸術文化創造センター建設は当初60億円で抑えるとのことでしたが、様々な事情があって舞台設備をプロポーザル方式で調達する動きがあり、建設費が15億円～20億円も上乘せになるとしたら、今後人口減、税収減のものの市財政を考えても容認できません。当初のオーソドックスでシンプルなホール建設の考え方を堅持し、60億円以内に収まるよう努力してほしい。これは市長が市民に約束したことです。		C 検討
135	あまり華美にせず、最初に決めた予算を超過しないように。		C 検討
136	無理のない予算で市民みんなが使えるものにしてほしい。		A 盛り込み済
137	要求、使用目的が増えたのに、増えない予算。多くのことをするには、多くの金額が必要なのは常識だと思う。	基本計画に示された建設費を基本として進めておりますが、震災後の資材、人件費の高騰や消費税増税などの経済情勢の変化にオリンピック招致等の影響も加わり、今後さらに厳しい状況となることが考えられます。これまでにいただいた市民や専門家の意見を出来る限り実現しようとしながら、建設費を抑えるための努力を続けていきたいと考えています。	C 検討
138	労務費や資材の高騰は、時代の中でやむを得ないことであると思っています。無理に規模を縮小するよりも、現計画の中でコストを考慮した設計を進めていただきたいと思います。		C 検討
139	消費税が増税され、整備費が増えることになるが、無理やり切り詰める必要はない。市として常識をもって対応してほしい。ホール使用者の受益者負担を十分考慮すべきだ。		C 検討
140	市民からの多額の税金を無駄なく使っていただきたい。		C 検討
141	豪華なものではなく、親しみやすいホールにしてもらいたいと思います。大切な税金なので、ムダなく良いものにしてください。		C 検討
142	建設費、維持管理費等の面で市民に過重な負担にならないよう気を配って頂きたいです。		C 検討
143	現在あるいは近い将来の財政を考慮した時、当センターに多額の投資は許せない。(人手不足と建設費の上昇、高齢化、人口減少、当センターの維持管理費等の考慮)		C 検討
144	今回総額は60億円までと決められているはずですが。あまりに高い建設費や、機構では、建てたとしても維持管理にお金がかかりすぎ、借りるにも高くなりすぎたり、メンテナンス不良が起きたり、市民のために作ったはずが、大きなお荷物になることは図に見えています。		A 盛り込み済
145	パブリックコメント説明会に伺ったが、設計者が奇妙なことを発言されていた。図面に黄色く塗られた部分、主に1階2階ロビー側だったと思うが、自分の好きなようにやらせてほしいエリアだそう。建築費が不足すると設計者は盛んに市民に訴えているようだが、市民が相談して決めて来たベイシックプランが達成されないうちに、一方では市民が望みもしていない茶室をプランしているようだ。まず、躯体をふくめた建築コストのかかり方、その内訳を明確にしてから、仰っていただきたいものだ。	基本設計では、建設費の概算について検討を行っています。基本計画に書かれている、にぎわいを創出するため、設計者は施設に目的のある利用者だけでなく、市民にも開放される場所としてオープンスペースを提案しています。詳細については実施設計の中で検討を行います。	C 検討

146	コストの話が設計者から出るが、コスト表の提示も無い（市民が読み取れるような代物ではないと思うが）。そもそも総コストに占める主要な項目のパレート図を示し、それぞれの項目に3案ほどあって、それらの組み合わせを議論して全体案3案くらいに絞り、どうしましょうかと提案してくるのが普通である。いきなりオーケストラピットは無くてもよいと言われても納得出来ない。	基本設計では、建設費の概算について検討を行っており、オーケストラピットについては設置しますが、その方式など、詳細については実施設計の中で検討を行います。	C 検討
-----	--	--	------

広場

No.	意見	市の考え方	区分
147	以前から、城趾公園一角に砂場や遊具を、との声があったと思いますが子供を遊ばせることができるようなスペースを、今回の芸術センターの敷地の一角に計画できないでしょうか？賑やかに、お年寄りの方々も一緒に集い、市民の憩いの場になるのではないのでしょうか。そして、長い間のお母さん達の希望でもあります。	広場空間については、アート活動やイベントを行うことを想定して設計されています。こうすることで、まちににぎわいを生み、中心市街地活性化へ寄与するとともに、災害時の避難や活動のための空間としても活用されます。いただいたご意見については、施設内のオープンスペース（託児可）との役割分担を考えながら、参考とさせていただきます。	D 参考
148	子供がいて楽しめる遊具があったほうが、子連れの親も気軽に来れて、子供も喜ぶので、あったほうが良いと思います。（例：少し芸術感を取り入れたもの）		D 参考

車寄せ

No.	意見	市の考え方	区分
149	敷地内にちゃんとしたロータリー式の車寄せを設けるべき。 ・千人前後の規模でイベントを開催する際にも、メイン入口前の市道に来客の車またはタクシーが渋滞することが無いようにすることが必要。 ・入場者が健常歩行者だけではないことを本気で考慮すべき。 ・現行の案では、大半の入場者が離れた駐車場から徒歩で入場を強制されることになり、強く懸念しています。	計画敷地内に業務を行う上で必要な台数分（「小田原市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」に規定される台数）を確保し、その他については、周辺の駐車施設の利用を基本としています。また、車いす使用者の方の来館については、お堀端通り沿いの車寄せを送迎用としてご利用いただくことや、敷地内の車いす使用者用駐車場をご利用いただく計画としています。	A 盛り込み済
150	障がい者、身体不自由者の方は、車でのエントランス近くまで行くことが出来ないが、雨天などの場合の設備はどうなっているのか。	車いす使用者の方の来館については、お堀端通り沿いの車寄せを送迎用としてご利用いただくことや、敷地内の車いす使用者用駐車場をご利用いただく計画としています。また、車寄せ、車いす使用者用駐車場については、施設内まで庇のある部分を動線として計画しています。バスからの乗降については、お堀端通り沿いの車寄せの利用を検討しております。	A 盛り込み済
151	身障者乗降口（車寄せ）が西側会館正面にありませんので直接エントランスに入れる配置計画を考えて下さい、それと身障者駐車場も近くの場所をお考え下さい。せめて30人乗りのバスの乗降入場口を駐車場ともお考え下さい。		D 参考

駐車場

No.	意見	市の考え方	区分
152	設計案に対して障がい者の駐車場が3台になっておりますが、神奈川県はみんなのまちづくり条例によると1,200席規模のホールは3台ではなく、4台になっています。今の設計案はみんなのまちづくり条例に違反していると思います。4台にしてください。	「神奈川県みんなのバリアフリーまちづくり条例」では、駐車台数100台につき1台車いす使用者用駐車場を確保することと規定されています。本計画においては、車いす使用者用駐車場を3台確保する計画としております。	D 参考
153	車いす駐車場は車いすの人が二台以上になった場合、関係者駐車場にもおけるようにする ・冬や雨や風の時に困難を生じる。 ・車いす運転手の高齢化でも何とか車を運転している人もいるので。	計画敷地内に業務を行う上で必要な台数分（「小田原市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」に規定される台数）を確保し、その他については、周辺の駐車施設の利用を基本としています。なお、車いす使用者用駐車場については、計画敷地内に3台確保する計画としております。	C 検討
154	大ホールと小ホールが同日に活用するとすれば、関係車両の駐車場では台数不足が生じてくると思います。		A 盛り込み済
155	公用車、皇室車両はどこに駐車場に止めるのか。		A 盛り込み済
156	駐車場の出入口が示されていません。図面によれば裁判所と東電の間には植栽が切れていますが、ここを唯一の出入口とするとお城側からの一般車は無駄に往復を繰り返す（小田原駅西口の一般車用車路のように）することになり、また舞台搬入車がいる場合には交錯したり通行できなかつたりすることが想定されます。外周道路に更に2か所の出入口があると良いと思います。なお、公演系などでは一挙に多数の車両が集中すると思われ、どのような処理を前提としていますでしょうか。お城通りの再開発で駐車場ができるようですが、いまでも安くない駐車料が更に高額になったり公共事業協会の収入を意味なく支援するような結果になったりしないように願います。		A 盛り込み済
157	駐車場の不足。少なくとも障害者用の駐車場は確保すべきだと思う。		A 盛り込み済
158	駐車場の確保について、近隣から借り上げできるように心がけて下さい。		D 参考
159	南東駐車場にある身障者用のスロープ付き出入口は利用者側であり、見学者用では無いと思います。南西の駐車場の利用計画を明細に説明下さい。	南東の車いす使用者用駐車場については、出演者としての利用を考えています。お堀端通り沿いの駐車場については、芸術文化創造センターの駐車場ではありません。	A 盛り込み済

通用口

No.	意見	市の考え方	区分
160	裁判所の裏通用入口、通路と搬入車の通路が共用されることにより、受刑者の車両と関係車両との間に問題点が発生する可能性があるのではないかと。	基本設計にあたっては、裁判所も含め、関係諸官庁と協議をしながら検討を進めており、今後も合意形成を図りながら進めてまいります。	A 盛り込み済
161	裏側にある駐車場からの会場への入口は「裏口」でなくちゃんとした入口にしておくべき。 ・来賓は勿論のこと、一般入場者も入場客として失礼のないよう扱われるべき。	計画敷地内に業務を行う上で必要な台数分（「小田原市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」に規定される台数）を確保し、その他については、周辺の駐車施設の利用を基本としています。	A 盛り込み済

救護室

No.	意見	市の考え方	区分
162	保健室（のようなもの）があると安心です。具合が悪くなった観客、怪我をした出演者が休める、応急治療ができる場所として。	他の諸室を救護室として活用するなど、施設の運用において検討していきます。	C 検討

テラス

No.	意見	市の考え方	区分
163	「テラス」という要綱は、基本構想、市民ホール基本計画、管理運営基本計画、どの部分にも記載されていた記憶がない。どの段階から突然、しかも二階お城側のかかなりの面積を取って、テラスが生まれる経緯となったのか、設計者の説明を求めたい。市民はセンターを安全に、快適に、確実に、長年に渡って使用したいのであり、お城を眺めたいわけではない。	建築物の屋根部分について、避難上有効に活用できるスペースとして計画したものです。テラスの活用方法については施設の運用において検討していきます。	C 検討
164	二階のテラスにはお花などをかざった方がより華やかになってお弁当を持ってきた人も空気が良く、楽しみながら食事ができると思います。	施設の運用において検討していきます。ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討

樹木

No.	意見	市の考え方	区分
165	現在、植えられている松の木、桜の木が平面プランに描かれていないが、伐採する方向なのか。お堀端の景観のひとつとして、何十年も市民に愛されてきた樹木である。30mセットバックも、景観との融合を目的とした要件だったはず。大切な木と共存する方向でアート広場を捉え直して欲しい。伐採し、スペースを広く取ることは建築上必要なのかもしれないが、あまりにも安易である。新しい時代の文化施設を標榜するのであれば、樹木は絶対に生かすべき。この木を残し、ともに文化を育むことが、市民にとってどれだけ誇りとなるか。また、設計者に対しても難しい部分であろうが、変な軒先を創るより遥かに市民の理解も得られ、樹木と建築を融和した設計として評価されると思うが、いかがであろうか？	芸術文化創造センターのにぎわいの創出を考える上で車寄せも含めて広場空間は大変重要なものであると考えています。また、車寄せについては、高齢者や体が弱い方の乗降りのため、広場空間については防災を考える上で重要な役割も果たします。そのため、施設全体としての配置計画の中で機能と安全性を考慮しながら、既存の樹木についてはその対応を考えていきます。	C 検討
166	現在の土地の松の木およびサクラですが、当初残すように希望していましたが、うろがあり腐朽している部分も多く、保存に耐えないと考えます。残念ですが、早期に市民に告知して安全なうちに伐採して、早期に周辺植栽計画を策定するのが好ましいと思います。平面図に簡単に描かれている植栽についても早期にプランを考えるのが好ましいと思います。		C 検討
167	木は中のものが見えるくらいの大きさが良いと思います。	外構計画を検討していく中で、ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考

■計画全般について

三の丸地区

No.	意見	市の考え方	区分
168	三の丸という歴史的な立地にわざわざコンクリートを作る必要もなし。	基本計画に基づき、周辺環境に配慮した計画とします。	E 実施困難
169	城跡整備、歴史を主体としたまちづくりの視点からは、この場所に大型施設が建設されるのは好ましくはないと思いますが、諸般の事情からどうしても、ホールをここに建設しなくてはならないことを想定しての意見です。その観点からもできる限り、目立たず、小さく、将来の変更に対応できる形で建設される事を望みます。何もかも詰め込む事が困難な事情ですので、まち全体に機能分担する方向も基本の考えです。	基本計画で示された考え方に基づき、景観へ配慮された計画となっていますが、施設の外觀の詳細については実施設計において、検討していきます。また、小田原駅周辺地区の機能配置を踏まえ、現市民会館の担っている機能の移転・集約等を行い、芸術文化機能については、芸術文化創造センターで担っていきます。	A 盛り込み済

三大事業

No.	意見	市の考え方	区分
170	今、小田原市で計画中的お城通りのセンター、小田地下、芸術文化創造センター、そして運動が起きているらしい美術館とは施設として「かぶらない」施設を造ってほしいものです。あっちこっち似たような施設はいらない。	お城通り再開発事業、地下街整備事業、芸術文化創造センター整備事業については、歴史的、文化的な地域資源の活用を目指した拠点の整備、商業・業務機能などの都市基盤の整備・集積と、それらの連携により、小田原駅から小田原城周辺地域の回遊性を高め、中心市街地の活性化を図るため、整備を進めています。	A 盛り込み済
171	敷地が無理がありますね。入りきれない施設は、駅前立体駐車場に持ってきたり、チグハグです。入りきれないなら、地下街を無理やり商店をつくらず、入りきれない施設と、駐車場にすべきでしょう。三大事業が時代にマッチしなくなっているの、見直しという事です。		D 参考
172	広場やカフェ、エントランス周辺の空間を大切に、お城通り地区再開発や地下街と相俟って、世代や活動ジャンルを越えた多くの人の交流やまちなかのにぎわいにつながる場所となることを期待します。		A 盛り込み済
173	市民ホールの計画に当たっては、単独事業としてではなく、現在の三大関連事業の一つとして、特に市の財政状況を踏まえた建設費用となる様に要望する。(身の丈のコスト) そのため必要な経費の上昇を抑え、費用の抑制に努め、当初基本計画の建設コスト55億~60億円の範囲に収まる様にされたい。	基本計画に示された建設費を基本として進めておりますが、震災後の資材、人件費の高騰や消費税増税などの経済情勢の変化にオリンピック招致等の影響も加わり、今後さらに厳しい状況となることが考えられます。これまでにいただいた市民や専門家の意見を出来る限り実現しようとしながら、建設費を抑えるための努力を続けていきたいと考えています。	C 検討

市民ワーキング

No.	意見	市の考え方	区分
174	まともにならなくなるかもですが、市民ワーキングに反対意見を持っている人達を招待したい。他の課とかも。	今後も市民のみなさんからいただいたご意見をもとに、専門委員と設計者とともに検討を行っていきたくと考えています。	C 検討
175	設計のワーキングに大学で環境デザインを学んでいる学生を招待。女子美、東京農大、東京工芸、etc		C 検討
176	忘年会、もしくは新年会、懇親会をお酒で和をかもすと		C 検討

177	一般に市民の要求・要望は多様であるが、市民ワーキングで統一した意見を出すのは容易ではなく、市民の意見を専門委員が汲み取って裁定をくださるのが、専門委員の役割分担となる。従って市民はやりたいこと、希望を羅列すればよく、そのように意見を出している。	D 参考
-----	--	------

事業の進め方

No.	意見	市の考え方	区分
178	あくまで、建設計画専門家の意見を重視すべきです。市民委員の意見は要望が先行し、建設コストについては欠落しがちです。建設コスト内に留まる意見採用にすべきです。	基本計画に示された建設費を基本として進めておりますが、震災後の資材、人件費の高騰や消費税増税などの経済情勢の変化にオリンピック招致等の影響も加わり、今後さらに厳しい状況となることが考えられます。これまでにいただいた市民や専門家の意見を出来る限り反映させながら、建設費を抑えるための努力を続けていきたいと考えています。	D 参考
179	市民の発言は多種多様だが、それがいつのどの段階で解決されるべき課題なのかを市民は明確には理解していない。基本設計で議論されるべきこと、実施設計で議論されるべきこと、管理組織が議論すべきこと等を区別無しに意見を言う（そのこと自体はかまわない）。これをどの段階での課題であるかの采配をふるうのも専門委員の役割である。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。また、今年度策定する管理運営実施計画については、市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員によって、計画としてとりまとめていく予定です。	D 参考
180	課題には独立で検討出来ること（例：ギャラリーが大ホールの仕様に影響を与えることはない（スペースとかコストの取り合いで影響することはあるが、これは別問題））、お互いが影響し合っって両立策を講じたり、妥協したりする必要のある課題（ホールの演劇と音響の両立等）があり、これを明確に啓蒙するのも専門分科会の役割である。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
181	そもそも、技術が進歩しているから多目的ホールは可能という前提で、議論は進んで来た。南側の道路幅が少し広がって建て屋の高さに制限が出るのがわかり、設計者が苦勞しているが、技術が解決出来るのですか？ 市民を心配させないでほしい。	設計者がこれまでに培った実績や経験を活かし、可能な限り、市民や専門家の意見を反映できるよう、努力を続けているところです。	D 参考
182	限られた敷地・建設予算・維持費等を十分考慮して進めることが肝要と存じます。将来に過度の負担を市民に残すことは可能な限り避ける努力と知恵が必要と考えます。	基本計画に示された建設費を基本として進めておりますが、震災後の資材、人件費の高騰や消費税増税などの経済情勢の変化にオリンピック招致等の影響も加わり、今後さらに厳しい状況となることが考えられます。これまでにいただいた市民や専門家の意見を出来る限り実現しようとしながら、建設費を抑えるための努力を続けていきたいと考えています。また、維持管理費の考え方については、管理運営実施計画で検討しています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
183	設計者殿には大変過酷な要求となっているのですが、よろしくお願ひします。次の図面公開を楽しみにしています。	最終的な基本設計案については、市民説明会を開催することを予定しています。詳細については改めて市HP等でご案内させていただきます。	D 参考

184	市長が変わり、ホールの見直しに関係の会議には今まで4年間参加してきたが、“意欲を失った”と言っている声が耳に入る。私もその一人になりつつあり、ワーキングには参加をしていない。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
185	少人数で話し合ったことで市民の意見としないで欲しい。設計者不在のような現在の話し合いのまま計画を進めないで欲しい。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。	D 参考
186	コンパクトに施設内も含め、市民が使いやすいホールにシフト修正できないのであれば、反対します。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
187	基本概念が、市民ホールから芸術文化創造センターに方向変更したことで、要求の様々な複雑化が発生したように思う。	芸術文化創造センターは、基本計画において、芸術文化活動を通じて、地域と市民が核となって創り出していく、小田原の創造的な活力の源泉とも言える、芸術文化創造の拠点として整備するものとしています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
188	市民の要求を採用すべきものとそうでないものと厳しく分けなければならない。また、要求のレベルを一段階上げるために、一流の演者を演劇、音楽等、多面的に小田原に招致し、上演すべきです。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
189	設計者・専門委員・市職員が良く話し合っ、議員各位にも市民にも説明してください。	最終的な基本設計案については、市民説明会を開催することを予定しています。詳細については改めて市HP等でご案内させていただきます。	D 参考
190	設計をチェックして下さい。専門家によるチェックは可能ですか。(かもめ図書館の設計は有名な方と聞きますが吹抜けのため&床の防音が考慮されていないため、音が響いて困っています。マロニエ301も吹抜け・丸天井のため、音が響いて聞き取り難いです。)	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	A 盛り込み済
191	平成25年11月21日(木)、芸術文化創造センター平面プラン案の説明を(株)新居千秋都市建築設計の新居設計氏からのお話を聞いて見ると、図面上には基本計画案と市民サイドの要望に最大限のプランを基本設計案としてであると説明されていましたが、非常に苦慮されていると感じました。①初めの土地面積から現時点で少し縮小することによって、変更せざるを得ない点があること。②予算がこれから先の消費税の増税と、建築資材のコストアップがどう影響してくるか検討するが予測がつかない。③今の時点で設計上、市民の要望を新たに追加するまでの余裕は存在しない。④もう少し市民サイドで芸術文化創造センターにおける将来の活用方法等に工夫すべきであると話された。以上のお話から、もう一度、新居設計氏と一般市民との膝を交えた話し合いの場を設けて、小田原のまちをどうしたら活性化し、将来の芸術文化創造センターの存在が市民だけに限定されるのではなく、市外の人々、観光客等に役立つことになるのか?是非ともプロの建築家である新居氏の声を聞きたいと思います。	今後も市民のみなさんにご参加いただきながら事業を進めていきたいと考えており、ご意見として参考にさせていただきます。	A 盛り込み済
192	市民の意見を色々聴く形で、進めて来たやり方については、前市長の時と違って、非常に良かったと評価します。私自身も最初の委員会をすべて傍聴しました。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
193	出席者には交通費程度の報酬を出すことを検討して下さい。タダのボランティアにあきあきな人たちもいたはず。良いホールを作るために、シフト変更をよろしくお願いします。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考

194	基本設計に反映された市民の意見の実現を市民が見届けること、それには、今後の実施設計から建設工事の完成に至るまでにも市民の関与が必須と思いますが、市の行政ではどのように考えているのでしょうか。	今後も市民のみなさんにご参加いただきながら事業を進めていきたいと考えています。	D 参考
195	現在市民会館の活用度を十分分析し（案）を作成されているのでしょうか。疑問がある。（費用対効果の検証等）	基本計画の策定や基本設計での市民ワーキングにおいて、既存施設の機能についてご意見をいただいております。こうしたご意見を踏まえた基本設計となっております。また、管理運営費や施設利用料などについては、今年度策定する管理運営実施計画の中で検討しています。	A 盛り込み済
196	市民参加をしながら丁寧に進めていることに敬意を表すが、逆にこのような手法を取るが故に、芸術文化活動に関心のある住民の意見ばかり聞く結果となっている感が否めない。	今後もより多くの市民のみなさんにご参加いただき、また、ご理解いただけるよう、事業の周知に努めていきます。	D 参考
197	設計者に全部（構造・音響及び設備）を任せたいと思います。借金の少ない予算の中に入るように考えてもらいたい、余り器に秀でた設備は後にメンテナンスがかかりすぎますので運用上も考慮した計画にすべきだろうと思います。市民がこのように要望会議する形はゆっくりとよりよいものを作るには、初めてのことなのです。細部に至るまで説明責任を果たして下さるようお願いいたします。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。また、今年度策定する管理運営実施計画については、市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員によって、計画としてとりまとめていく予定です。最終的な基本設計案については、市民説明会を開催することを予定しています。詳細については改めて市HP等でご案内させていただきます。	D 参考
198	予算・敷地面積など、現実に立ち戻り、諦めなければならないところは、諦める決断をしなければならない。もう、そのような段階に来ていることを市民みんなで認識し、展示方法や期間を考えるなど、創意工夫をすることや、人口減少社会に向けて、どのような展望が持てるのかを、前向きに検討してみてもはどうだろうか。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
199	基本構想、基本計画、管理運営基本計画は、いずれも一年ないしそれ以上の時間をかけて、多くの市民委員と専門委員の尽力により策定されたものであり、この先、社会情勢や市の担当者が変わっても、変えてはいけないものであると思います。		D 参考
200	基本計画、管理運営基本計画の頃と比べると、市民ワーキングの盛り上がり小さくなっているように感じます（具体的な話になることで、もっと盛り上がるのかと思っていましたが…）。この事業を良いものにしようと考え、時間を割いてくださる市民の方々のモチベーションを大切にしてください。そのことが、永く市民に愛される施設にもつながっていくことと思います。	この施設を末永く使いこなしていくためには、市民のみなさんの参画が不可欠であり、運営スタッフとの協働によって成り立つものと考えています。今後もより多くの市民のみなさんにご参加いただけるよう努力を続けていきたいと考えています。ご意見として参考にさせていただきます。	A 盛り込み済
201	建物を作る側と内部設備側の整合性がとれていないと、折角の設備が無駄になるので指揮系統を一本化して建設する方に一任するのが一番ムダが省略できる方法である。設計者が既に動き出したのだから、内部設備側の要望を出して後は設計者側に一任するのが一番ムダなく早く進行すると思います。	市民のみなさんのご意見をもとに、専門委員と設計者と市が議論しながら基本設計を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考

202	私はすべての市民ワーキング、専門分科会に参加してきましたが、まだまだ議論が不足していると感じています。本来設計者と市民が、一つ一つ出来ること出来ない事を話し合いながら進めていかなければならないのに、設計者と話が出来たのは、12/15一日だけというおそまつさです。60億の仕事なのに専門委員も来られるのは、毎回一人か二人、それも意見の統一が無く、市民も戸惑うことが多く、ファシリテーターの勉強不足か、何度も同じことを繰り返されたり、枝葉の議論が多いのも気になりました。	今後も市民のみなさんにご参加いただきながら事業を進めていきたいと考えており、ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討
-----	---	---	------

整備事業について

No.	意見	市の考え方	区分
203	焦ってホールをつくれれば、必ず将来後悔します。現状の市民会館で十分でしょう。	市民会館の開館から約50年を経て、社会的に求められる機能や現在の芸術表現の場として必要とされる機能を満たしておらず文化振興の実践の場として十分に活かされていない状況です。芸術文化創造センターは、単なる市民会館の建替えではなく、芸術文化活動を通じて、地域と市民が核となって創り出していく、小田原の創造的な活力の源泉とも言える、芸術文化創造の拠点として整備するものです。また、歴史的、文化的な地域資源の活用を目指した拠点の整備、商業・業務機能などの都市基盤の整備・集積と、それらの連携により、小田原駅から小田原城周辺地域の回遊性を高め、中心市街地の活性化を図ることを目的としています。	D 参考
204	市民ホール事業の根本的な見直しを求めます。		D 参考
205	市民ホールはいらない。この地域にある松田町・開成町・南足柄町のホールで十分、そしてけやきホールもあるので十分である。小さな使い勝手の悪いホールを作っても、小田原に人は来ないし、使う人も「使い勝手の悪さ」の評判で使いたがらない。皆、横浜・東京へ行く。むしろ横浜・東京へ出かけたい。だから芸能関係者が「もちろんホールがあれば小田原でやりたいですよ!」というのと、お客様自体は「横浜・東京『で!』観たい聴きたい」のです。結局お客様は都心に流れてしまうのですから、これでは使用料をいくら高くしても維持できません。		D 参考
206	60億かけて造って、維持費2-3億、なら他にやることはあるのでは?そして別の街で、市民が運営・市民が基金で維持しているところもあるけど、基金を作るならそんなことしてまで立てないほうが良い!!!大体、芸術と文化を推進するなら、「使用料ゼロ、市民の利用料ゼロ」ですよ!		D 参考
207	地下街と5階建てにしても300台しか入らない駅前駐車場に建設費と維持費がかかるのに、市民ホールに建設と維持費はもう出せない。それでもお金を使おうとする市長をリコールしようという声もある。市民ホール建設は、本当に、ほんの一部の市民の希望なのだから、建設自体を考え直すべきである。		D 参考
208	私自身は都心で活動しているので、小田原での「ホール」に関心も期待もしていない。今作っても、人は来ないと思う。		D 参考
209	あの狭い土地に作っても、それなりの使い勝手のものになってしまう。ちゃんと大きく、良いものを作れば、人は来ると思うけど、今はそんなにお金を掛ける時期ではない。小田原にそんな財力はない。未来の人に責任を負わせられない。		D 参考
210	今の計画ではダメ。計画自体が稚拙。2市8町をみたらわかるでしょ。南足柄があるのに同じようなものを作ったらダメでしょ。市民ホールを作ることは賛成だし、良い物なら100億かかっても作ってほしいけど、造った後の維持管理までちゃんと考えて、どんな人が使うのか、どんな人に使ってほしいのか、毎年埋まる様「猛烈に営業しないとイケない!」、行政は絶対に「市民力」なんて悠長なことを言えない金額だから。わかっています?「猛烈に営業する」=「行政がする」ですよ!市民力なんか頼る問題ではありません。今、このまま市民ホールを作ったら、大変なことになります。「ホール建設」は市民の総意ではないから。		D 参考

211	街の全体像を見ていないし、「経営」としての考えが無く、市民ホールは無理と思う。南足柄や、他の近隣ホールがあるのに、今、この巨額のホールをつくる時期なのか?! 2市8町の全体像を見なくてはならないのでは?!		D 参考
212	若い世代の人たちが大きくなっても誇れるようなホールにしていきたいです。	基本計画において、「芸術文化活動の中核として市民に愛される施設」や「誰もが快適で安心して利用できる施設」とすることを掲げており、建築物（ハード）だけでなく管理運営（ソフト）においても、実現できるように検討を進めています。ご意見として参考にさせていただきます。	A 盛り込み済
213	利用者に使い勝手がよく、何より市民に愛される施設にしてほしいです。		A 盛り込み済
214	子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層が落ち着いて、演劇やコンサート等楽しめるようなホールを希望します。		A 盛り込み済
215	若い世代の人たちにも親しみやすいホールにしてください。		A 盛り込み済
216	ホールを使う人も訪れる人も子供から高齢者まで使いやすく、楽しめるものを作ってもらいたいです。		A 盛り込み済
217	このプランは市民や市が何年も議論を重ねた結果で、あるべきとして示された訳ですから、展示系に関連する意見はごく少数であり、十分に考慮されるべき範囲の外にあることが理解されました。「芸術文化創造センター」完成の暁には素直に利用させていただき楽しませていただこうと存じます。		A 盛り込み済
218	ちゃんとした土地の整理を考えてからやったほうが良い。前回、話がでたとき、地検地裁の立ち退きを法曹が拒んだと聞いているが、あの2軒があることで、未来に「恥ずかしい市民ホール」が出来てしまう。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
219	建設に反対はしませんが、平面図だけでは立派なものとは分かりません。コスト・設備・構造等、詳細を教えてください。	詳細については実施設計の中で検討していきますが、建設費の概算、設備・構造の基本的な考え方については、基本設計の最終案でお示しいたします。	C 検討
220	作るならば、広々と、してほしい。鐘つき堂を、ちゃんと「活かせる」設計ならいいと思う。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
221	新ホール建設にあたり、市民の声にも熱血さを感じています。		D 参考
222	待ちに待った市民ホール。	平成28年度の完成を目指し、着実に事業を進めてまいります。	D 参考
223	今まで、秦野・南足柄・茅ヶ崎の文化会館に足を運んでいましたので、小田原に新しいホールができることに期待をしています。		D 参考
224	新しいホールが出来るのはとても楽しみです。		D 参考
225	現在の市民会館が老朽化しており、芸術文化創造センターの建設には、反対する理由はありません。早めに建設を希望します。		D 参考
226	市民ホールの建設、このままの内容で良いと思う。他のホール（南足柄など）より、小田原にあったほうがたくさんのお客さんは来るし、何より利用（開催）したい人がたくさんいると思う。今、市民ホールの建設にみんな反対しているが、わたしは、良いと思う。地域で活躍する芸術家・音楽・演劇・美術を応援するにあたって「市民ホール」は必要だと思う。		D 参考
227	多年にわたり芸術文化創造センターの建設計画をお練り頂き誠にありがとうございます。		D 参考
228	小田原を活性化するための、文化創造拠点建設のため、ご尽力頂きますこと、心より御礼申し上げます。		D 参考
229	芸術文化創造センターの使命を考えると、単に使いやすい建物や設備を作って終わりではなく、その中で行われる活動や事業が伴って初めて完成するものだと考えます。ぜひ、ハードとソフトを一体のものとし、関係各所が連携を取り合って整備を進めてください。		D 参考

230	湯河原町民ですが、市民ホールを使わせていただいています。文化行事が①みんなのもの②使いやすい、ものすごい設備が付いているよりその事が大切と思います。財政が厳しい折、早く安全なホールが出来ることを切に願っています。	D 参考
231	高齢なので、一日も早い完成を願ってやみません。	D 参考

■その他

機能分担・役割分担

No.	意見	市の考え方	区分
232	第3回基本設計計画案から2階平面図について、ワークショップルームが気になりました。新市民ホール建設後旧市民会館の稼働です。耐震構造の難しさがあるかと思うが、内装リニューアルオープンができると良いと思います。そこへワークショップルームを設けたいとの提案です。仮名「未来創造館」。	市民会館については、耐震補強工事は実施したものの、設備等の施設について老朽化が著しく、現在の機能について、芸術文化創造センターやお城通り地区再開発に補完され次第閉館することを考えています。	D 参考
233	現在の市民会館もあと3年使用するならば、せめて反響板だけでも改善すべきです。専門委員の諸氏も現在の響きの悪さは視察の会で体験なさっているはず。High levelの文化体験が現在の小田原の街には少なすぎます。一度きりの人生には良い体験が、幸せが必要とは思いませんか。人生は短いのです。何年も時間を無駄にははいけません。	市民会館については、耐震補強工事を実施したものの、設備等の施設について老朽化が著しく、消防設備などの利用者の安全に関わるものや、施設の通常運営に著しく影響するものについて、必要最小限の改修を行っていきたくと考えています。	D 参考
234	基本計画にあった様々な機能を盛り込む事が、土地や予算などの面から困難となっている現状では、どれかの比重を落とす事も必要かと思えます。とすれば、市民による文化創造機能は、この施設内で保証するのではなく、近隣施設などを活用して分散していく事も大切になります。本当に創造的な市民による文化創造となれば、それぞれの創造集団などで独立したNPOなどで、空き店舗などを活用して事務所なりアトリエなり稽古場などをつくるようでないとならば、自由に活発な活動は望めません。この施設の機能は外に発表する事に特化して、一般向けの公開ワークショップなどを中心にして用意は、周辺の独立民間施設に分散するような文化政策をする事がまちづくり全体を考えても有意義です。	芸術文化創造センターは市民の芸術文化活動の拠点施設として整備するものであり、活動がこの施設で完結するのではなく、既存文化関連施設との役割分担を考えながら、この施設を拠点としてまちのにぎわいに寄与していくことを考えています。	D 参考

管理運営・ランニングコスト

No.	意見	市の考え方	区分
235	練習室・リハーサル室は市内の既施設（けやきをはじめ、他公民館・学校の体育館等）の活用を管理運営部会で検討し進める。・・・仮に練習室・リハーサル室が出来ても、多くの市民団体の要求には対応不可、結局抽選方式となり、漏れたグループは他の場所を探すことになる。よって必要と思うグループは、市内の前述（ ）の施設を「自分たちで交渉し施設を確保することになる」環境が整わなければ出来ないわけではなく、まず自分たちで「考える・行動を起こす」ことが必要。これらの指導啓蒙は今後の管理運営部会の検討に期待したい。	今年度策定する管理運営実施計画の中で、市民参加や事業、管理運営ルールについて検討しています。ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討
236	ホールを活用する上で、大スタジオを使用する日に本番、大ホールの開催は可能なのか。それによって、年間のホールの運用日数に制限が発生するのではないか。	基本的に各機能の同時開催は可能と考えています。施設全体で行う事業や各機能を連携して行う事業などの特殊なケースの場合、運営面も含めて対処することになります。なお、今年度策定する管理運営実施計画の中で、市民参加や事業、管理運営ルールについて検討を行っています。	C 検討

237	土地の面積と建物の総面積からして、建物の図面上、あまりにもあれもこれもとといった感じで、もっとすっきりとしたホールとして、市民が利用しやすく、コストの負担が将来にわたって維持管理費用が増大していくことが大きいのではないかとと思う。	市が目指す文化政策のあり方、事業規模を踏まえた上で、今後この施設を最大限に活かしていくために、今年度策定する管理運営実施計画の中で、自主事業の内容や本数、運営ルールについて、検討しています。	C 検討
238	市民ホールの「経営」という面で、毎年何億も経費がかかるというソフトの面をもっと考えなければダメ、つくってはダメだと思う。「建ててみなければ」「やってみなければ」「わからない」では、ダメに決まっている!!!	また、光熱水費やメンテナンスコストなどの維持管理費の概算については、諸室の機能や規模に大きく左右されるため、設計作業と並行して検討していきます。	C 検討
239	自主事業も多く検討しているようで、それはそれで大変結構なことだと思いますが、現在だいぶ事業を増やしているようですし、あまり無理せずに、人件費や管理費などのランニングコストがかからないような施設にして欲しいと思います。		C 検討
240	会場名称が大きすぎる。発表の場所であると思いますが、創造・練習場所には使用料もお高いし不向きだろう。一般団体が毎日借りられる会場ではないと思います。市民文化会館程度が妥当！	今年度策定する管理運営実施計画の中で、維持管理費に対する考え方について、検討しています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
241	自主事業も実施されることと思いますが、「数多くやるのが良い」「高尚なものをやるのが良い」という方向に流れ、結果、人件費や事業費が膨らむことを懸念しています。他にも、市民利用の圧迫、市民の芸術文化離れ、職員のモチベーションの低下など、心配なことはあります。これまでに策定した計画の理念に立ち返り、それを実現できる事業の精査を行うべきと考えます。	今年度策定する管理運営実施計画の中で、市民参加や事業、管理運営ルールについて検討しています。ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討
242	地域文化の育成や、市民参加の面からは、現在設計されている各種の部屋割りをどう利用の仕方があるのかを表示しながら、内容を高めていき、利用促進には月曜から金曜の利用について、料金設定を低くし、特にホールの稼働率を高めることを念頭に市民がいつもいるセンターにする。	今年度策定する管理運営実施計画の中で、管理運営ルールについて検討しています。ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討
243	市の予算は限られています。すでに土地取得に8億円以上の余分な予算を使ってしまっています。このホールの運営にどのくらいかかるのか知らされぬままに、進められています。劇場は機構があるため、普通の建物以上のメンテナンスがかかります。大規模修繕費も30年で建設費と同額かかると言われています。この場合、60億なら毎年、2億円を別に用意する必要があります。今回は平面図とはいえ、どのくらい機構にお金がかかり、私たち市民の身の丈に合ったものになるかどうか今の段階から話し合わなければならないはずです。	光熱水費やメンテナンスコストなどの維持管理費の概算については、諸室の機能や規模に大きく左右されるため、設計作業と並行して検討していきます。ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討
244	建設後の維持費と運営費についても、どの程度かかるのでしょうか。その点も無駄のないようお願いいたします。	市が目指す文化政策のあり方、事業規模を踏まえた上で、今後この施設を最大限に活かしていくために、今年度策定する管理運営実施計画の中で、自主事業の内容や本数について、検討しています。また、光熱水費やメンテナンスコストなどの維持管理費の概算については、諸室の機能や規模に大きく左右されるため、設計作業と並行して検討していきます。ご意見として参考にさせていただきます。	C 検討

パブリックコメントについて

No.	意見	市の考え方	区分
245	素人には設計図だけでは理解できません。建物の実物縮尺による模型を展示して下さい。それを市役所ロビー、地域センターロビー、かもめ図書館、駅に展示して下さい。	パブリックコメントに実施にあたっては、これまでにいただいたご意見を踏まえた、平面プランについて広く皆様からご意見をいただくために実施したものです。今後はパブリックコメントでいただいたご意見を踏まえ、基本設計案を修正する予定です。基本設計案について、市民説明会を開催することを考えております。	D 参考
246	意見公募に関わることで、平面プラン（なぜプランとって計画といわないのか）の提示にあたって、平面図を投げるだけでなく、それぞれの設計に関わる簡単な説明（コメント）を付けていただいていたなら、設計者（専門家や市民を含む）の意図を汲むことができ理解不足や誤解が避けられたであろうと思われます。		D 参考

舞台設備業者選定プロポーザル

No.	意見	市の考え方	区分
247	現在、設計者と、ホールの心臓部分の機構を決める専門家との話し合いができないというのはおかしい	舞台設備業者選定プロポーザルについては、予算の範囲を定めた中で、複数の舞台設備業者から提案を受け、よりよいものを選定する方式であり、この方式が直ちにコスト上昇に影響するものではありません。しかしながら、建設費全体としてのコストコントロールや物理的な納まり等の課題があるため、現在、設計者、専門委員と協議を行っております。また、会議の公開については、プロポーザルを実施する場合、公正な競争を行うため、募集要項の発表まで非公開とすることが一般的です。いずれにしても、市民のみなさんにもご理解が得られる最善の方針を決定いたします。	C 検討
248	15日の意見交換会に参加し、強く感じたことは、プロポーザルは、大失敗だと思った。これをやることで、やる気ある市民が大勢はなれてしまった。5班あったのに15日は1班に。プロポーザルをやめ、新居さんと直接話しながら進める形、15日に行ったようなことを臨時に行ってほしい。		C 検討
249	プロポーザル方式はやめてください。専門委員の方々が市民の声を聞こうとしないとの話も聞いています。このままにすると単純総計が60億円を遙かに超えてしまうとも聞いています。再度 設計者、専門委員、市民、市でしっかりと話し合っよりよい物にしてください。		C 検討
250	舞台機構の設計が、新居千秋氏と違うところで、ある意味、非公開で計画されており、とても多額の内容で、今まで話し合われてきた、小田原の身の丈にあった設備でなくなってきている。60億円の予算を遙かに超える贅沢な内容になっているように聞きました。本当ならば、即刻改めて下さい。60億円でも贅沢だ、必要ないという市民が大勢います。大型公共投資が目白押しの中で、過大な投資は許されません。		C 検討
251	新居千秋氏は、ホール建設に対して、優秀な総合建築家と聞いております。新居氏にも、舞台機構の設計のプロポーザルに参加していただき、間違えのないように進めてくださいますこと、よろしく願いいたします。		C 検討
252	どのようなものになるか、市民も設計者も内容も分からず、いいかげんなままプロポーザルに出されても、大手の業者の勝手にされるだけだと思います。機構を決める専門委員は、一度も市民と顔を合わせていません。私たちが何を望んでいるのか、きちんと伝わっているとは思えません。一軒の家を作るのに設計者と話しもせず業者だけが一人歩きすることなどありえないと思います。城下町ホールの設計案と同じような間違いをしないと決めたために、本来のあるべき姿を歪めてしまったこのプロポーザル方式はやめるべきです。今までのようなやり方ではなく、12/15に行ったような市民、設計者、全部の専門委員が一堂に集まり、話し合うことによって、様々な問題が短期間に解決すると思います。何のためにこの芸術文化創造センターを作ることになったのか、もう一度初心に戻ってほしいと思います。文化部の皆さん、専門家の皆さん、市民のこと、市民の税金を使うという事を忘れずに進めていただきたいと思います。		C 検討

その他

No.	意見	市の考え方	区分
253	まだこれで決定じゃないので、コメントは差し控えてさせていただきます。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
254	(市民ホール) あんなものはいらない！それよりも街内放送を分かりやすく伝える手段を早く考え直してほしい。以前から再三、市へお願いしているが、人の声でアナウンスしては、何を言っているのか分からない!!例えば津波なら・高波なら・川の洪水なら・地震なら、などそれぞれで「音」を変えて、定期的に音を鳴らしながらの訓練をする。「災害別の音」と「短い人の声」で知らせる。とか、市民ホールを作るならば、各戸に防災無線を配るなどして、市民の安心安全に備えることの方が優先だ。		D 参考
255	地裁・地検に移転してもらうように交渉して下さい。そして東電や他も移転してもらえよう交渉して下さい。広い用地確保を！		D 参考
256	今の市民会館は取り壊したら、永遠に更地にしておくことだけは約束して頂きたいです。「1号線を東京方面から走ってくると、目の前に小田原城が現れる」こういう絵がThe ODAWARAという物=景色を残していただきたいです。お願いします。	市民会館については、耐震補強工事は実施したものの、設備等の施設について老朽化が著しく、現在の機能について、芸術文化創造センターやお城通り地区再開発事業に機能移転され次第閉館することを考えています。ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
257	ホールの建設は急ぐことないと思います。その分けやきをきちんとリノベーションして下さい。駐車場をふやして、駅からのシャトルバスも出すといいと思います。	ご意見として参考にさせていただきます。	D 参考
258	配置として、南側道路を利用しているものとして狭い感じがします。国道1号線から裁判所前の道路にスムーズな右折をできるようにして下さいれば良いのですが？	安全面や道路構造について、関係諸官庁と協議をしながら整備を進めていく予定です。	C 検討